



園長だより

NO.17 R6.9.9 (Mon)

先日(9月2日)の引き渡し訓練 暑い中ではありましたが、ご参加頂きありがとうございます。園長だより No.15 (8月26日掲載)にも掲載させて頂きましたが、8月8日に起きた日向灘沖地震以降も福島県沖などで地震は依然頻発し、予断を許さない状況であることは否めません。

そんな中、今回の訓練で佐鳴台から1時間以上かけて歩いてご参加頂いた保護者様からは、「歩けるか不安でしたが、実際に考えるいい機会になりました。」他の保護者様からも「家族で、道中災害について、ずっと話題にしながら歩いたとても貴重な時間でした。」など、コメントを頂きました。連絡帳でも

昨日は防災訓練をありがとうございました。大変遅くなり、すみませんでしたが、その後、元気に走り、手まり帰宅することが出来ました。今までは、一番距離が短く、且つ高台を通る方が安心と当然のように思い、幼稚園へ向かう道は毎回同じでした。しかし最近の大雨のおかげで「土砂崩れか、あ、たら!？」と気付きました。私の中では初めて、土砂崩れの可能性を考えたばかりのお迎えでした。いつもの道ではない所を通り、車では大した差ではないのですが、実際歩いてみると15分程余裕にかかりました。収穫です!!

こちらこそ、ありがとうございます。体力的にも、大きな成長ですね。倒壊だけでなく、「土砂崩れ」という観点でも考えなくてはなりません。素晴らしい観点。そしてお母様のご意見通り、ご家族様にとって、大きな収穫ですね。

毎回始まるまでは「ほかほか憂鬱な訓練」なので、(笑)終わった後は必ず何か得るものがある非常に有意義な訓練です!! 今年もまた、頑張りたいと思います! ありがとうございます

まだまだ暑さも厳しい今の時期、左記にもお書き下さった様に「毎回始まるまではなかなか憂鬱な訓練」、正にその通りで、

全く正直なご意見だと思っております。ですが、「もし実際に災害が起きた時に、どこを通って、その道中がどんな状態で、どう我がが迎えに來たらいいのか、結局、ご家族の命を守る事に直結するそれぞれの保護者様ご自身の何より大切な訓練ではないか」と思っております。園でも、お預かりさせて頂いたお子様の命を守り、無事に保護者様一人おひとりにお引き渡し出来るよう職員一同、出来る事、思いつく事は全て全力で備え、対応していきたく思っています。1月には逆に寒い時期で、降園途中という園での子ども達がクラスごとではなく、バスコースごとに活動していたらという今回とは違った場面想定を行います。“いつ起こるか分らない”“今、起ったら”と今後とも防災意識を高く持って、ご家庭でも備えて頂けたらと思います。

園でも、ロッカヤ棚など、備品ひとつひとつに転倒防止を設置するなど整備見直しを行っております。

1月の降園途中引き渡し訓練も、どうぞ、宜しく願致します。

